

とおかまち



登れたよ!

5月8日(土)、松茸神社(国の重要文化財)で子どもの健康と成長を願う松代の伝統行事「七ツ詣り」が行われました。数え歳7つの男の子が、雪の残る険しい山道を登り松茸神社へ参拝。最後の急な斜面を力強く登る子どもの姿に、見守る大人たちは成長を感じていました。

主な内容

- 成人おめでとう／きものまつり 2-4
- 叙勲おめでとうございます 5
- 選挙管理委員会／子育て応援カード事業 6-7
- 里山センター／田んぼDeアート ほか 8-9
- 地域おもてなし事業／コンピュータ入門講座 10-11
- MC協議会／水道週間 ほか 12-13
- とおかまち応援寄附金／星空散歩 ほか 14-15
- 地域の風～支所からのたより～ 16-17
- きらめき青春／おーい!昔 ほか 18-19
- まちの話題TOWN TOPICS／はたログ 20-21
- お知らせ・ガイド ほか 22-27
- この時 熱中・夢中 28



多くの新成人が会場を埋め尽くしました



アトラクションでは、ブルガリア生まれで松代在住の、ボイコ・ストーリーノフさんによる音楽パフォーマンスが披露されました

皆さんの持っている力を十日町市のために！

十日町市長 関口芳史

新成人の皆さんおめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

十日町市は今、新たなまちづくりのモデルとしてたいへん注目されています。皆さんの力を結集してさらに全国にアピールしてってください。そして、皆さんに続く子どもたちのために力を発揮してほしいと願っています。

私は皆さんに、ものすごく期待しています。胸を張って誇りにできる十日町市をいっしょにつくっていきましょう。



会場入り口で再会を喜ぶ新成人

新成人インタビュー



高橋 貴美子さん（助平）
成人式を楽しみにしていました。待ちに待ったこの日を迎えられる胸がいっぱいです。多くの友人に会うことができました。今は美容師になるために勉強中です。卒業後は県内で就職したいです。



小林 可奈さん（湯山）
ここまで育ててくれた両親に感謝しています。現在、看護師を目指して勉強中です。祖母を見舞ったとき、献身的な看護師さんを見て進路を決めました。内面的にも成長した大人になりたいです。



川田 恵太さん（通り山）
成人式を迎えて大人になったことを自覚させられます。今は学生ですが、将来は地元で事務か経理の仕事に就きたいです。一人暮らしをしています。親の大切さが身になります。感謝したいです。

650人の新たな門出

成人おめでとう

5月3日（憲法記念日）、クロス10で成人式が行われました。今年の対象者は、平成元年4月2日～平成2年4月1日生まれの人で、650人（市内中学校卒業生数及び学校基本調査）です。当日は約550人の新成人が出席し、新たな門出を祝いました。



司会を務めた、新成人の大口貴子さんと上原拓也さん



市民吹奏楽団による新成人を祝した記念演奏



新成人を代表して、春日大輝さん（写真右）と曾根瑞希さんが新成人の抱負を発表しました。春日さんは、「大学で学んだ知識を生かして、将来は地球環境の改善に力を注ぎたい」と将来の夢を語りました。曾根さんは教員になる夢を語り、「将来は子どもたちのより良い未来のために自分にできることを精いっぱいしたい」と抱負を述べました。

新成人インタビュー

新成人インタビュー

今年成人式を迎えた皆さんが生まれた平成元年から平成2年は、大阪府で「国際花と緑の博覧会」が開催され、旧東ドイツではベルリンの壁が崩壊しました。また、この時代にバブル景気の崩壊が始まるなど、大きな転換期を迎えた年でもありました。そんな新成人に、会場でインタビューをしました。



涌井 舞さん（高島1）
成人式で久しぶりに友人と会えてうれしかったです。4月から美容室に勤め始めました。仕事は大変ですが、お客さんとの会話が楽しいです。2年後にはスタイリストになることが目標です。



清水 亜沙美さん（高原田）
成人式を迎えることができてうれしいです。今まで育ててくれた親に、「ありがとう」と伝えたいです。現在、新潟市内で働いています。早くいい人を見つけて結婚したいです。

叙勲おめでとうございます

さまざまな分野で永年にわたり活躍・貢献した皆さんが国から表彰されました。
晴れの栄誉に輝いた皆さん、おめでとうございます。

永年にわたり、教育に従事した功績で、金山有紘さんが春の叙勲に輝きました。金山さんは、昭和38年に英語教諭として小出高に赴任。その後十日町高へ異動し、昭和55年に県教委から派遣され早稲田大大学院へ内地留学。昭和63年から安塚高牧分校や新津南高で教頭を務め、平成5年から松代高・分水高・新潟向陽高で校長を歴任しました。現在は、生家の曹洞宗赤城山清龍寺第25代住職を務めています。金山さんは、「平成8年に先代が亡くなり寺を継いでからは、住職を務めながら校長を務めました。檀家や周囲の皆さんの協力があってこそその受章です。とても感謝しています」と話していました。



金山 有紘さん
(霜条・70歳)

瑞宝小綬章
(教育功労)

永年にわたり、地方自治の振興に従事した功績が認められ、村山里志さんが春の叙勲に輝きました。村山さんは、昭和58年に旧松之山町議会議員に初当選以来、平成17年3月までの6期21年間にわたり、要職を歴任してきました。平成7年から11年と15年から17年には町議会議長を務めるなど、持ち前の優れた才知で議会活動を先導してきました。村山さんは、「主要幹線道路の改良事業など、インフラ整備に力を入れてきました。市町村合併の際に議長として満場の一致にならなかったのが心残りです。今回の受章は、今まで支援してくれた皆さんのおかげです」と語りました。



村山 里志さん
(松之山赤倉・80歳)

旭日双光章
(地方自治功労)

35年有余の長期にわたり、信濃川姿水位観測所の水理観測に従事した功績が認められ、松下喜好さんが春の叙勲に輝きました。松下さんは、昭和43年に水理観測員として委嘱されて以来、風雨や風雪の激しい中でも、強い責任感と正確な観測で治水計画や洪水対策の基礎資料の採取に多大な貢献をしました。松下さんは、「毎日2回、橋のたもとで観測をしました。特に冬の降雪時は大変でした。ここまで続けてこれたのも、観測を陰で支えてくれた母親のおかげだと思います。また、信濃川河川事務所の皆さんの親切な指導と励ましにも感謝しています」と話していました。



松下 喜好さん
(幸町・63歳)

瑞宝単光章
(水位観測業務功労)

46年間にわたり、第一線で消防団活動に従事した功績が認められ、宮澤國一さんが春の叙勲に輝きました。宮澤さんは、平成21年に退団するまで分団長、副団長などの要職を務め、平成16年の中越地震では、夜を徹して延べ16日間の活動を行い、地域に貢献しました。宮澤さんは、「大変名誉なことと思っています。一番思い出に残っているのは、昭和63年、十日町会場で行われた消防団の県大会で、土市の自動車部が優勝し、全国大会に出場したことです。昼夜を問わず現場に駆け付けられたのは、家族の支えがあったからこそです。団員と家族にはとても感謝しています」と語りました。



宮澤 國一さん
(小黒沢・65歳)

瑞宝単光章
(消防功労)

第34回

十日町きものまつり

5月3日（憲法記念日）、市街地を中心に第34回十日町きものまつり（十日町きものまつり実行委員会主催）が開催されました。好天に恵まれ、振りそでを着た新成人や市内外から訪れた33,000人が、歩行者天国を散策していました。また、きものパーティーという新たな取り組みも行われ、たくさんの人がきものまつりを楽しみました。



華やかな衣装をまとった稚児行列。かわいらしい笑顔を振りまきました。



ミス十日町雪まつりもきものまつりを盛り上げました。



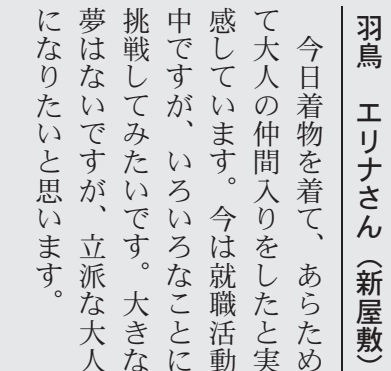
着物姿には人力車がよく似合います

新成人インタビュー



小杉 佳弘さん（桑原）

現在は大学で情報関係を学んでいます。将来は地元に戻ってきて、大学で学んだことを生かしたいと思っています。家族や友人の支えでここまでこれました。それを糧に、一層勉学に励みたいです。



羽鳥 エリナさん（新屋敷）

今日着物を着て、あらためて大人の仲間入りをしたと実感しています。今は就職活動中ですが、いろいろなことに挑戦してみたいです。大きな夢はないですが、立派な大人になりたいと思います。



小野塚 理美さん（東川）

12月に二十歳を迎えましたが、まだ実感がありません。4月から横浜市内で化粧品販売員をしています。これからにも人に喜んでもらえる仕事ができるように努力していきます。

選挙管理委員会からのお知らせ

この夏執行予定の「第22回参议院議員通常選挙」から、市内5か所に設置される期日前投票所のうち、4か所で設置期間などが変わります。また、郵便などによる不在者投票制度の対象者が拡大されることになりましたのでお知らせします。

支所の期日前投票が変わります

期日前投票は、都合で投票日当日に投票できない人が投票できる制度です。これまで市内5か所で等しく期日前投票所を設置していましたが、投票実績の少ない期間や時間帯を見直すことにより、川西、中里、松代、松之山の4か所の設置期間と終了時間を次のとおり短縮することになりましたので、ご理解をお願いします。

なお、十日町保健センター（市役所隣）に設置される期日前投票所については変更ありません。



期日前投票所設置場所	設置期間		開閉鎖時刻	
	変更前	変更後	変更前	変更後
・川西地域活性化センター ・中里支所 ・松代支所 ・松之山支所	公示日（告示日）の翌日から投票日の前日までの間	投票日の前日から前7日間 ※ただし、告示日がこの期間中の場合は、この限りではありません	午前8時30分 ～ 午後8時	午前8時30分 ～ 午後7時 （1時間短縮）

また、これまでどおり有権者の皆さんが都合の良い期日前投票所で投票することができます。

地域子育て応援カード事業

カードの交付申請手続きのご案内

子どもの多い家庭や障がいのある子どもを育てている家庭を地域全体で応援し、子どもを産みやすく、育てやすいまちづくりを目指すために、7月1日(木)からスタートする「地域子育て応援カード事業」。対象となる人は、市の施設の利用料減免のほか、買物・飲食・理美容・金融・住まい・旅行など多種多様な協賛店で、それぞれのお店独自の優遇サービスを受けることができます。サービス利用時の資格証明書となる地域子育て応援カード（住基カード）の交付申請を6月から開始します。

カードの交付申請は6月21日(月)から受け付けます

サービスを利用したい人は、市から地域子育て応援カード（無料）の交付を受け、協賛店などで提示する必要があります。対象となる人は、次のいずれかに当てはまり、市内に住所がある人です。

- ① 18歳未満の子どもを3人以上養育している保護者
- ② 身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳を持つっている18歳未満の子どもを養育している保護者
- ③ ①・②の保護者と同居、もしくは同一敷地内に住む保護者の父母（子どもの祖父母など）

5月末現在で対象となる家庭には、6月上旬に申請書類を郵送します。6月から対象となる家庭は、出生の届出など市役所で手続きをする際に案内をします。

※すでに住基カードの交付を受けている人は、再交付が必要となりますので、申請手続きの際に必ずお持ちください

※本人が手続きする場合は、市役所で写真撮影できます（無料）

※窓口の混雑により、即日交付できない場合もあります。また、支所で手続きした場合は即日交付できません

● **手続き・問合せ**
子育て支援課 ☎ 757-3719 または各支所市民課

郵便投票などによる不在者投票対象者が拡大します

身体障害者福祉法施行令の改正などに伴い、「肝臓の障がい」のある人もその等級により自宅で郵便投票などによる不在者投票ができることになりました。

次に該当し郵便などでの投票を希望する人は、あらかじめ「郵便投票等証明書」の交付を受ける必要がありますので、身体障がい者手帳などを持参のうえ選挙管理委員会へ交付申請を行ってください。

郵便投票などによる不在者投票の対象者

身体障がい者手帳	両下肢・体幹・移動機能の障がい	1級もしくは2級
	心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸の障がい	1級もしくは3級
	免疫・肝臓の障がい	1級から3級
戦傷病者手帳	両下肢・体幹の障がい	特別項症から第2項症
	心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸・肝臓の障がい	特別項症から第3項症
介護保険の被保険者証	要介護状態区分	要介護5

■ **問合せ** 選挙管理委員会（保健センター1階）☎ 757-3719

「5月31日は世界禁煙デー」5月31日(月)～6月6日(日)は禁煙週間

『女性と子どもをたばこの害から守ろう』

市では、「健康とおかまち21」（平成19年3月策定）に基づき、市有施設の禁煙・分煙を推進し、受動喫煙の防止に努めています。受動喫煙によって、喫煙者の周囲の人も肺がんや呼吸器疾患などの健康被害を受けることが分かっています。受動喫煙を防止するには喫煙者の協力が欠かせません。マナーを守り快適な生活空間をつくりましょう。

県では、禁煙・分煙に積極的に取り組み、受動喫煙防止を宣言する施設を募集しています（市内では平成22年5月現在で103施設が登録）。登録するとステッカーが交付され、県ホームページで施設名が紹介されます。詳しくは、十日町地域振興局健康福祉部（☎ 757-2401）へ、またはホームページ（http://www.pref.niigata.lg.jp/tokamachi_kenkou/index.html）をご覧ください。

● **問合せ** 健康支援課成人保健係 ☎ 757-9764

区分	手続きに必要なもの（すべて原本を持参してください）
申請者が日本人	【本人が手続きする場合】（注1） ・顔写真入りの身分証明書で官公署が発行したもの（運転免許証、旅券など） ・印鑑
	【代理人が手続きする場合】（注2） ・交付申請書（申請者本人が記入し、代理人を指定したもの） ・申請者本人の顔写真 ・代理人の顔写真入りの身分証明書で官公署が発行したもの（運転免許証、旅券など）
申請者が外国人	【本人が手続きする場合】 ・外国人登録証、運転免許証、旅券のうちいずれか1つ
	【同居者または同一敷地内に住む親族が手続きする場合】 ・申請者本人の外国人登録証、運転免許証、旅券のうちいずれか1つ ・申請者本人の顔写真 ・手続きする人の身分証明書（顔写真入りの運転免許証などは1種類、顔写真がない健康保険証や年金手帳などは2種類必要です）
	【代理人が手続きする場合】 ・申請者本人の外国人登録証、運転免許証、旅券のうちいずれか1つ ・申請者本人の顔写真 ・委任状（申請者本人が作成したもの） ・代理人の身分証明書（顔写真入りの運転免許証などは1種類、顔写真がない健康保険証や年金手帳などは2種類必要です）

（注1）顔写真入りの身分証明書がない場合は即日交付できません
（注2）代理人が手続きする場合は即日交付できません

5月17日現在の協賛店数 270店舗

※協賛店は随時受け付けしています。協賛店の詳細は市報とおかまち6月10日号でお知らせします

「田んぼ De アート」参加者募集

稲苗を筆に、田んぼをキャンパスにして、おもしろい絵文字や熱い思いを文字にして描きます。いっしょに大地に芸術を描きませんか。

どんなアートにするかもみんなで決めましょう。小学生以上ならどなたでも参加できます。大勢の皆さんの参加をお待ちしています。

《内容》

- 日時：6月5日(土) ※雨天決行
午前8時30分～午後0時30分(予定)
- 集合場所：ほくほく線まつだい駅
- 参加費：無料
- 持ち物：田植えに適した格好(汚れても良い格好)
- 申込み方法：住所、氏名、生年月日、電話番号、

eメールアドレスを明記のうえ、直接または郵送、FAX、e-mailで提出

- 申込み締切：6月3日(木)(必着)
- 問合せ：〒942-1592 十日町市松代3252-1 松代支所地域振興課

☎597-2220 FAX：597-2526 e-mail：ms-chiiki@city.tokamachi.lg.jp

当日のスケジュール

午前8時30分	まつだい駅集合(田野倉に移動)
午前9時	絵文字や文字の内容を検討
午前10時	作業開始
正午	作業終了(まつだい駅に移動)
午後0時30分	まつだい駅で解散

十日町産コシヒカリを食べられる店 新規申請を受け付けます！



来訪者・消費者が安心して十日町産コシヒカリを食べられるよう、市内で生産されたコシヒカリを提供する飲食店や旅館などを昨年度から認証しています。平成22年度の新規申請を受け付けます。

- ◆対象：市内で十日町産コシヒカリ(他品種とのブレンド米は除く)を提供している飲食店・旅館など
- ◆申請方法：認定申請書に次の書類を添付して提出してください

・誓約書 ・十日町産コシヒカリである証明(米穀商や農家の証明、自家栽培米の場合は申請者自身が証明)
※市で審査し、要件を満たした飲食店・旅館を台帳に登録して認証状を交付します
※認証状は店内の見やすいところに掲示してください
※標板(アルミ製)・ステッカー・のぼり旗を販売しますので、希望する人は申請書とともに申込書を提出してください

※証明書は毎年提出してください

- ◆申請・問合せ：6月15日(火)までに産業観光企画課 ☎757-3691

地元農産物産地見学会

市内では、雪下にんじんやアスパラガスなど、特色ある農産物が生産されています。飲食店などの関係者を対象に産地見学を開催しますので、地元農産物のメニューへの活用を考えてみませんか。

- 日時：6月21日(月)
午後1時～3時30分

- 集合場所：十日町地域振興局駐車場

- 参加費：無料
- 定員：先着15人
- 内容：アスパラガス、カルピタトマト、なす(梵天丸)の生産ほ場をマイクロバスで巡り、生産者からの説明や収穫体験、試食などを行います。
- 申込み・問合せ：十日町地域振興局農業振興部企画振興課 ☎757-5518



十日町市里山センターは、過疎化や高齢化に悩む集落の再生と活性化に向けた支援をするために、平成20年7月1日に開設。活動期限(平成25年3月末)を設けて、集落の皆さんが主体的に取り組んでいる地域振興活動や産業振興活動、そのほか集落の再生活動など、さまざまな支援を行っています。とりわけ、高齢者が多い集落を中心に、4人の支援員が市内5地域を分担して活動しています。

●これまでの取り組み

開設から2年間は、地域の実情やニーズを把握するために、集落の役員の皆さんから話を聞いたたり、地域協議会などの会議に参加したりしました。また、地域行事や復興基金を活用したデザイン策定事業にも参加して、地域の課題や問題点も伺いました。一方で、少しずつですが、皆さんからの相談や要望に対して提案などもしました。

●各地域での取り組み

十日町地域では、中越大震災復興基金を活用し、地域コミュニティや集落の自治活動を活性化するための取り組みが盛んに行われています。担当支援員は、これら

の事業が円滑に進むよう、積極的に会議などに参加しています。また、川西地域や中里地域では集落の伝統芸能が継続できるようなお手伝いをし、松代地域では安心で安全な農産物を首都圏の消費者につなぐ機会などをつくり、農産物の特産化に向けた活動を行っています。松之山地域では、市と都市住民を結ぶ団体の活動をお手伝いし、都市交流による地域の活性化



にも取り組んでいます。各地域の取り組みは、里山センター広報紙「LIMO通信」や市報などでお知らせする予定です。

●今後の取り組み

急速に少子高齢化が進む中、近い将来、自分たちの地域は自分たちの手で支えなければいけない時期が来るのが予想されます。その準備として、住民も自ら暮らす地域の経営を進める仕組みを考えることが必要です。そのため、里山センターでは今後3年間、各地域のニーズに合ったさまざまな企画の提案や調整を行うとともに、地域活動を活性化するための人材育成や集落間のネットワークづくりの支援をしていきます。



―活動を紹介します―

(財)山の暮らし再生機構
十日町市里山センター

〒948-8501
十日町市千歳町3-3
十日町市役所内
☎750-5260
FAX 750-5261

〈平成22年度情報館主催〉

コンピュータ入門講座

前期 受講者募集

情報館では、気軽にパソコンに触れ、暮らしに役立ててもらうために、コンピュータ入門講座を開催します。パソコン・インターネットのほか、ワードやエクセルの入門コースもあります。実際にパソコンを操作して学習できますので、ぜひ参加しませんか。

- 対 象：コンピュータ操作の初心者で、マウスやキーボード操作に不慣れな人や、インターネットでの情報検索や電子メールを始めたい人、文書作成や表計算などの操作を覚えたい人。
- コース内容：各コースとも1日2時間で3日間の講座です（日程詳細は一覧表のとおり）。定員は各コース18人で、会場は情報館です。今回は前期（6・7月）の受講者を募集します。※後期（9・10月）の日程や募集案内は、市報8月10日号でお知らせする予定です
- 受講料：1講座4,000円（テキスト代込み）
- 申込み方法：はがきに①希望のコース名②希望日程③郵便番号④住所⑤氏名⑥連絡の取りやすい電話番号を

コ ー ス 名	講 習 日 程	時 間
パソコン・インターネット 入 門	6月22日(火)～24日(木)	午後2時～4時
	6月29日(火)～7月1日(木)	午後7時～9時
	7月13日(火)～15日(木)	午後2時～4時
	7月21日(水)～23日(金)	午後7時～9時
ワード（文書作成） 入 門	6月22日(火)～24日(木)	午後7時～9時
	7月6日(火)～8日(木)	午後2時～4時
	7月13日(火)～15日(木)	午後7時～9時
	7月27日(火)～29日(木)	午後2時～4時
エクセル（表計算） 入 門	6月29日(火)～7月1日(木)	午後2時～4時
	7月6日(火)～8日(木)	午後7時～9時
	7月21日(水)～23日(金)	午後2時～4時
	7月27日(火)～29日(木)	午後7時～9時



- 記入して郵送するか、情報館に用意してある申込書で申し込んでください。
- 第1次申込み締切り：6月13日(日)（当日消印有効）※定員を超えた場合は抽選となります。抽選に漏れた人には、後日、コース変更などの案内をします※定員に達しないコースは、6月15日(火)午前9時30分から、電話・窓口での申込みを随時受け付けます。なお、受講者が5人以下のコースは中止することがあります
- 申込み・問合せ：〒948-0072 十日町市西本町2 十日町情報館 ☎750-5100

—— 地域おもてなし事業補助金 ——

おもてなしで来訪者との交流を楽しみませんか

昨年の大地の芸術祭で大好評だった、地域の皆さんによる来訪者への温かいおもてなし。今年は8月1日(日)～31日(火)に開催する大地の芸術祭関連イベント「越後妻有 大地の祭り2010」で、おもてなしを行う地域や団体を支援します（イベント前日に実施する事業も対象とします）。

- 補助対象団体**

集落や町内会、商店街などの産業団体、地区振興会、まちづくり活動団体、大地の芸術祭協力団体など
- 補助対象事業**
 - ①来訪者を歓迎する雰囲気や地域に醸成する事業
 - ②来訪者をもてなし、地域住民との交流を図る事業
 - ③来訪者に大地の芸術祭作品や地域の魅力を案内する事業（ただし、看板などを作成・設置するだけの事業は対象外）
 - ④そのほか適当と認められる事業
- 補助対象事業費**

消耗品費や飲食物購入費（来訪者に無償提供するもののみ）、地域独自の案内地図などの印刷費、案内所や休憩所設営のための使用料及び賃借料、臨時営業許可のための手数料、保険料など
- 補助率・金額**

補助対象事業費からほかの補助金を控除した額の4分の3以内（ただし、上限は7万円で千円未満切り捨て）。

- 申請方法**

6月7日(月)までに、事前申請書を提出してください。アイデア交流会実施後、6月22日(火)までに正式な申請書類を提出してください。提出先は観光交流課（本町分庁舎内）です。

申請書類は企画政策課、観光交流課、各支所地域振興課に用意してあります。

アイデア交流会を開催します！

6月12日(土)、申請予定者を中心に事業の紹介やアイデア交換を行います。

事業を実施する団体は、事前申請書を6月7日(月)までに提出してください。アイデア交換のための資料ですので、大まかな内容でも結構です。申込み団体には、後日、アイデア交流会の詳細をお知らせします。

※臨時営業許可などについての保健所説明会も併せて実施します

越後妻有アートナビ登録施設・店舗を募集します

越後妻有アートナビは、携帯電話でQRコードを読み取ること、大地の芸術祭の作品はもちろんのこと、観光施設や飲食店、宿泊施設などの情報を取得できるシステムです。パソコン用のホームページ（<http://www.kanko-navi.jp/>）もあります。

施設や店舗のPRに活用してみませんか。

●登録料
1施設年間 1,000円

●登録方法
登録用紙に必要事項を記入して申し込んでください。詳しくは問い合わせてください。

QRコード



携帯電話はこちらから

■問合せ
観光交流課芸術祭企画係
☎757-2637

地域の救命率向上を目指して

地域住民に適切な救急医療を提供するため、平成16年に設立されたMC協議会。22年度は十日町市中魚沼郡医師会長の池田透氏（池田医院院長）を協議会長とし、医師会や歯科医師会、薬剤師会、看護師会をはじめ、警察や行政機関などと連携して地域の救命率の向上を目指しています。



メディカルコントロールとは

メディカルコントロールとは、救急現場から医療機関に搬送されるまでの間に救急隊が活動する場合、当該活動を医師が指示または指導・助言・検証して、それら医療行為の質を保障することを意味します。そのため救急隊は病院と連携し資質の向上のため教育研修を重ねています。

迅速な心肺そ生が救命のカギ

市民の皆さんが救急現場に居合わせた場合、救急隊到着前の「早い通報、早い応急手当」が救命率の向上に大きく左右します。
119番通報してから救急車が現場に到着するまでの時間は、市内平均で8〜9分かかります。一方、心肺停止の場合の救命率は、2分以内で心肺そ生が行われた場合は90％程度と言われていて、4分経過で50％、5分経過では25％まで低下します。心肺停止後、いかに正しい心肺そ生を開始するかが救命率向上の大きな力ギとなるのです。

MC協議会では、病院前救護における応急手当普及啓発活動とおして、救命率向上に力を入れて



設置している事業所や団体で、積極的な救命活動に賛同する地域救命の拠点です。現在、郡市内には102か所の救命サポート事業所があります。救命に大切なのはAEDを含めた正しい応急手当の実施です。いざというときのために救命技術を身につけておきませんか。

■MC協議会事務局

十日町地域振興局健康福祉部

十日町市中魚沼郡医師会

十日町地域消防本部

■問合せ

十日町地域消防本部警防課救急係 ☎757-0119

生命の危険がある傷病者が救急車を待っています

救急車の出動件数は年々増えています。救急車を必要としている人への適切な救命措置が遅れると、救える命が救えなくなる恐れがあります。効果的な利用をお願いします。



国民読書年 年間特別企画

「私のおきオススメ本」募集中

今年は国会決議に基づく国民読書年です。情報館でも読書活動推進の特別企画として「私のおきオススメ本」を募集します。ぜひ、皆さんのオススメの1冊について、コメントを寄せてください。

一般部門

■募集内容

毎月テーマを設定します。テーマにちなんだオススメの1冊についてコメントを寄せてください。

■6月の募集テーマ

「怖」

■募集期間

6月1日(火)〜30日(水)

※以後、毎月テーマを変えて、コメントを募集します。募集テーマは情報館のカウンターや市役所のホームページで確認してください。

児童部門

■募集内容

テーマは設けず、年間をととし

て読んでおもしろかった本についてのコメントや絵を募集します。

■応募方法

情報館のカウンターに応募用紙・応募箱を用意します。応募用紙に読んだ本のタイトルや著者名とその本についてのコメントを記入して応募箱に入れてください。※児童部門は絵でも応募できます。寄せられたコメントの活用方法館内の掲示スペースに張り出したり、情報館の広報誌「よむよむ」に掲載したりする場合があります。

■問合せ

情報館 ☎750-5100



6月1日(火)〜7日(月)

第52回 水道週間

『水道に 寄せる信頼 飲む安心』



■問合せ
上下水道局
☎757-3115

水道は、健康で文化的な生活や、さまざまな社会経済活動を支える必要不可欠な生活基盤として、重要な役割を果たしています。

漏水にご注意ください！

メーターの検針は、2か月に1回です。宅内の給水管の漏水やメーターボックス内の止水栓の故障は、使用者（所有者）の管理責任となります。

特に、確認しにくい床下や地中の漏水は発見が遅れることが多く、相当の額の水道料金が請求されることになります。日ごろからメーターに異常がないか点検をお願いします。

水道ひとくちメモ

◆赤い水

水道管についた「鉄さび」が主な原因。しばらく水を出しているときれいな水になります。

◆白い水

水の中に空気が混じり、小さな泡ができたために白く見えます。そのままにしておく透明になります。

◆青い水

新しい給水管から溶け出した微量の銅イオンが、石けんと反応して「銅石けん」となり、タイルなどに付いて青く染まります。浴槽などに石けんや湯あかが残らないよう、手入れを心がけましょう。

◆水道水のおいしい飲み方

おいしい水の温度は、だいたい15℃前後といわれています。ジュースのように、水も冷やして飲むとおいしくなります。



好評だった寸劇 会場は笑いに包まれました

正しく知る、楽しく学ぶ
～高齢者学級で認知症についての講座を開催～
 5月13日(木)、上野地区コミュニティセンターで、公民館講座の上野高齢者学級が開催されました。上野高齢者学級は、本年度4回計画されていて、この日は第1回目の講座『認知症のお話』と題し、

十日町市社会福祉協議会地域包括支援センターの職員3人を講師に迎えて行われました。講座は、参加した皆さんに分かりやすく認知症について知ってもらうため、講師が創意工夫を凝らした寸劇も取り入れられました。講師の1人で、寸劇の中心人物を担った包括支援センターの津端正子さんは、「ただ話をするよりも、寸劇で伝えるほうが分かりやすく、楽しみながら学んでもらえると思いました。認知症の予防についても、普段から楽しいことをして、頭の中を生き生きさせることが大切です」と話していました。参加者からは、「分かりやすかった」「楽しかった」などの声が上がリ、最後まで笑い声の絶えない、楽しい講座となりました。

かわに新聞

川西支所
 ☎768-3111



地域おこし協力隊と地域住民が
加須市民平和祭交流事業に参加
 5月3日(祝)、埼玉県加須市で開催された、『新市誕生記念 第1回加須市民平和祭』に、十日町市から里山センター職員や上布川地区地域おこし協力隊、上布川地区の農家の皆さん、松之山商工会長、支所職員が参加しました。加須市は、今年の3月23日に1市3町が合併し、新生加須市となりました。日本有数のこいのぼりの生産地で、100mのジャンボこいのぼりを上げるイベントなどがある有名です。松之山地域と加須市のつながりは、職員同士の交流から始まり、平成11年から16年まで、同市大桑地区で実施された「曉塾」に松之山地域の小学生が参加し、子ども同士の交流がもたれました。現在でも、同市不動岡地区で行われる夏祭りには、大蔵寺高原で保存している雪を毎年提供しています。

雪の提供など交流が続いていたこともあり、今回の物産販売や、観光PR事業が実現しました。物産販売では、野鳥こけしなどの民芸品やウド・コゴミ・ワラビなどの山菜を持参。山菜は好評のうちに完売することができました。今後とも交流を続けていくため、次年度に向けて反省検討会が行われる予定です。

湯コーミマイ心ハート
まつのやま

松之山支所
 ☎596-3131



待ち遠しいな、新しい保育園

笑顔と歓声があふれる保育園になることを願う
上野保育園改築工事起工式
 4月28日(水)、上野保育園改築工事起工式が行われ、関係者が出席して工事の安全が祈願されました。

起工式では関口市長が、「上野保育園の建て替えを無事着工できることをうれしく思い、協力していただいた皆さんに心から感謝します。今後も、次代を担う子どもたちや子育て世代が安心して暮らせる地域づくりを進めていきますので、ご支援とご協力をお願いします」とあいさつ。また、式の様子を現在橋保育園で合同保育中の



市長と設計、施工業者による“鉄入れの儀”

上野保育園児たちも見学し、最後に記念撮影を行いました。新しい園舎は、今年11月末の完成と来年1月からの保育開始を目指し、工事が進められます。施設には地球温暖化対策として、地中熱を利用した冷暖房が取り入れられ、前面の市道も改築工事に合わせて改良が行われる予定となっています。また、新しい園舎には、これまで川西地域で念願だった、『子育て支援センター』が併設されることも大きな特徴です。開設は平成23年4月の見込み。子育てに関する相談や情報提供などを実施する予定で、その完成が待たれます！

松之山小 美人林清掃遠足

4月30日(金)、松之山小学校(山崎美枝子校長)児童50人が美人林の清掃を行いました。この清掃活動は、遠足を兼ねて毎年春と秋の2回行われます。同小学校は、児童全員が緑の少年団に加入。動・植物などの自然観察や学校林の手入れ、森林内の清掃奉仕活動などを行い、地域の緑化推進に努めています。この日は美人林で昼食を食べた後、地主の一人、田辺誠二さん(松口・85歳)から指導を受けながら、林内の小枝やゴミなどを拾い集める作業を行いました。清掃が終わりすっかりきれいになった美人林には、5月1日から5日までの5日間で約7,300人の観光客が訪れ、残雪中に映える新緑の美人林を満喫しました。



薪のある狂言 真夏の笑い祭典

今年で13回目を迎える「万作の会」の公演が、8月3日(火)に開催されます。人間国宝・野村万作の舞台を見るまたとない機会です。多くの皆さんの来場をお待ちしています。



- ◆日時：8月3日(火) 午後7時～(開場6時30分)
 - ◆会場：山の上の能楽堂(雨天時：松之山体育館)
 - ◆演目：小舞「貝づくし」、狂言「磁石」「吹取」
 - ◆入場料：大人S席6,000円、S席5,000円、A席3,500円(小・中・高生は1,000円引き、当日は各500円増し)※チケット販売は6月8日(火)～
 - ◆申込み・問合せ：真夏の笑い祭典実行委員会 ☎596-2411
- ※詳細は『まつのやま.com』でインターネット検索をしてください

青春 14

下条中学校 向ヶ原生徒会

「夢に向かって全力疾走～最高の仲間と目指せ日本一～」この生徒会スローガンは、全校生徒の投票で決まりました。下条中学校は昨年、毎日新聞社主催の毎日カップ体力づくりコンテストで日本学校体育研究連合会賞（全国4,255校中5位）を受賞。今年は日本一を目指しています。また、あいさつや学習でも日本一の学校になれるよう、生徒会本部役員を中心に各委員会と協力して活動します。スローガンの文字は、生徒全員で色紙をちぎってはって作りました。



小林大輝会長・藤田秀吾副会長・小林萌夢副会長——いじめに対する意識を高め、いじめをなくすために各委員会がさまざまな企画を行う「にこにこ週間」を設けています。生徒会本部では、友だちが良いことをしていたら用紙に記入して箱に入れ、給食時に放送する「ハッピーオレンジプロジェクト」を計画しています。卒業しても誇れるような日本一の学校にしたいです。

高澤郁男先生・関彩子先生——生徒会に新しい風を吹き込もうとする姿勢が良いと思います。リーダーとしての自覚もあり、普段の生活からほかの生徒の手下となろうとしています。仲が良く、欠点も含めて互いに指摘しながら高め合っているメンバーです。

楽しもうスポーツ つくろう健康

スポーツ振興課 ☎ 752-4377

ネージュスポーツクラブ 教室紹介①

事務局 十日町市総合体育館内 ☎ 752-6202
ホームページ <http://www.neige-sc.jp/>

■ネージュスポーツクラブは

子どもから高齢者まで、幅広くスポーツを楽しんでもらえるよう、さまざまな教室を開催しています。気軽に楽しめる教室ですので、皆さんの健康増進に、仲間づくりに、ぜひ参加してください。

ジュニア卓球教室

教室紹介の第1回目は、本年度から新設されたジュニア卓球教室です。対象は小学3年生から6年生。毎週木曜日、市総合体育館アリーナで午後7時から8時30分まで開催しています。

卓球は小さな子どもから高齢者まで楽しめる、



安全で気軽な生涯スポーツです。始めは興味のない子どもでも、すぐに楽しさを覚え夢中になります。また、省スペースで家族みんなで楽しめるのも大きな魅力です。ベテランの十日町市卓球協会の会員が親切丁寧に指導しています。

福原愛さんなど有名選手の活躍もあって、卓球ブームも上昇中。皆さんも気軽に卓球を楽しんでみませんか。（申込みは事務局まで）

街中ウォーク 目指せ世界一周40,000km
5月1日現在の歩行距離 5,918km

おい！昔

（五十九）

「將軍ゆかりの大けやき」の巻 （湯山・赤谷）

今からずいっと昔のこと。征夷大将軍坂上田村麻呂が蝦夷征伐に向かいました。途中、松之山の湯山で一本のけやきが目にとまり、その木に馬をつないで休息しました。

村人は、身のたけ六尺を超え、髪は金色、鷹のような鋭い眼の武人を見て、「こら人じゃね、戦の神様だ」と敬い、心づくしのもてなしをしました。すっかり気力体力を養った田村麻呂は旅を続け、みごと蝦夷征伐を成し遂げました。

村人は、田村麻呂が馬をつないだけやきを神木とあがめ、大切に育てました。以来、目通り周囲15m、樹高30m、樹齢1,200年を超える日本屈指の巨木として国の天然記念物に指定



されるまでに成長しました。ところが、昭和59年の大雪で幹が痛み、樹勢が衰え倒壊の危険が生じたために、平成に入って伐採されました。松之山公民館にある衝立は、このけやきの一部で作られたものです。

田村麻呂將軍は、仙田の赤谷にも立ち寄り、記念にけやきを植えました。このけやきもすくすくと成長し、目通り周囲10m、樹高47m、樹齢1,200年と

いう新潟県を代表する巨木として県の天然記念物に指定されています。

古くから大木の木と呼ばれ、田村麻呂將軍のお手植えということで戦勝祈願に来る人が多くありました。

また、千手観音を本尊とする清水寺を創建するなど、田村麻呂は観音信仰が厚かったことから、けやきの幹からはがれる皮は、みんな観音様の形をしています。赤谷出身の兵士はこの皮をお守りにして戦場に出かけ、ずっと戦死者を出しませんでした。そのため、これをお守りにすると弾に当たらないと、太平洋戦争時には近郷近在から皮を求めに来る人が後を絶たなかったといえます。

最近では、甲子園を目指す高校生のお参りも多く、十日町高校球児が甲子園出場を果たしたことは記憶に新しいところです。樹勢はますます盛んで、いまでも成長を続けています。

昭和の十日町 No.14

～山内写真館の世界～
信濃川の渡し船

- 撮影時期：昭和15年ころ
- 撮影場所：下島付近

信濃川には東西の岸を結ぶ渡し場が数多くありました。渡し船での往来は大変な時間と労力を要し、川治村と上野村の素封家の婚儀では、嫁入り行列が孫佐衛門の渡しを越えるのに3時間もかかったといえます。その後、十日町橋の架橋や鉄道の開通で交通の便は格段に向上しました。 ●問合せ 情報館 ☎ 750-5100



と・お・か・ま・ち 事業所情報紙 はたログ

その18

十日町の働く現場を紹介します。

■問合せ 産業振興課 ☎757-3139

株式会社 新潟プレジジョン

～精密金属加工会社で、特にプレスなどの金型部品を得意としています。部品は主に生産工場の機械設備の中で使われ、高品質の製品を産み出す縁の下の力持ちとして、技術にこだわりながら“モノづくり”に取り組んでいます～

創業は平成8年。従業員の平均年齢は36歳と若い会社で、社名には「県内の加工部品会社で一番を目指す」という意味が込められています。部品加工では、QCDS（品質、価格、納期、サービス）を進めながら、お客様満足度の高い、オンリーワンのモノづくりを第一に掲げています。現在、長岡技術科学大学や経済産業省と連携を図りながら技術力のさらなる向上を目指しています。特に「温度と加工精度」に力点を置いたモノづくりを進めています。



また、精密度を独自で評価するため、新たに測定機器を購入し、取引先に安心・安全な部品を納品できる体制を整備しました。今後は国や県、NICO（新潟産業創造機構）からの支援や、一般企業や大学と連携を図りながら、微細加工という医療機器関係の精密部品分野にも新たに参入していきます。6月23日(水)から3日間、東京で開催される日本最大の機械要素技術展に出展するなど、全国を視野に入れた事業展開をしています。今後も高い技術力と挑戦心でミクロ産業の発展に貢献していきます。



～きものなど繊維用及び製紙用の染料をはじめ水処理薬剤、石材保護剤など幅広く取り扱う化学品の専門商社です。明治37年に紺吉商店として設立した老舗会社で、蓄積されたノウハウで各種オリジナル商品の開発、製造、販売を行っています～

紺商 株式会社



十日町に生まれ着物産業とともに成長する過程で、「水をきれいにする」住環境の整備から水処理薬剤、浴場向け資材（レジオネラ属菌対策薬剤）の販売へとつながっていきました。取引先も幅広く、着物会社には着物用染料を、県内の温泉施設やクリーニング店などには浴場向け資材や洗剤を販売するなどさまざま、中でも首都圏を中心にビルメンテナンス会社へのビル掃除用の石材用ケミカル製品の取引が伸びています。また、新幹線の高架橋を酸性雨などから保護するための劣化防止用薬剤の販売をきっかけ

に、墓石や大理石、タイルなどの汚れ落としや劣化防止用薬剤の製造販売など高機能かつ付加価値の高いオリジナル製品の開発に力を注いでいます。

社内のモットーは「送る商品、来る信用」で、特にお客様からのクレームを大事にし、それに対する解決策を社員全員で共有、周知するなど、常に風通しの良い社風を心掛けています。今後も「化学」を核に据えて、複雑化、細分化するお客様の商品要望に柔軟に対応していきます。



株式会社 新潟プレジジョン

代表者：代表取締役 星 光男
所在地：十日町市中条1-684-1
連絡先：☎752-6306
URL：http://www.np1.co.jp/
従業員数：24人
事業内容：精密金型部品、自動機部品加工、自動機製作
採用計画：若干名
理念/方針：「企業は人なり」人と人の繋がりの中、匠の世界で成長する。



紺商 株式会社

代表者：代表取締役 瀧澤 光正
所在地：十日町市本町1-614
連絡先：☎757-2111
従業員数：50人（長岡支店、新潟・五泉営業所、東京・さいたま事務所含む）
事業内容：繊維・製紙用染料、水処理薬剤、石材用ケミカル製品、クリーニング資材など
採用計画：3～5人程度
理念/方針：産業界のケミカル・パートナー



なでしこJAPAN 市内で初のキャンプ

5月9日(日)から15日(土)にかけて、当間多目的グラウンドでサッカー日本女子代表とU-20女子代表選手が強化キャンプを行いました。9日にはサッカースクールが行われ、なでしこジャパンの選手たちが子どもから社会人まで約110人を対象に、サッカー指導をしました。その後グラウンドで歓迎セレモニーが行われ、地元キルト愛好家からはきもの生地で作ったサッカーボールが選手たちに手渡されました。ワールドカップ出場選考会を兼ねるアジア予選を前に、チーム監督の佐々木則夫さんは、「中国で行われるアジア予選で初のチャンピオンを獲得して、皆さんに報告できるのを楽しみにしています」と話しました。



まちの話題 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、企画政策課広報広聴係（☎757-3112）へ、気軽にお寄せください。

tokamachi topics

わかむらさきの会で文化継承

5月7日(金)、十日町小学校で、きものの集いの皆さんの協力による「わかむらさきの会」が行われました。わかむらさきの会は、日本有数の織物産地十日町の伝統と文化を子どもたちに伝えたいとの思いから発足したもので、今年で13年目。十日町小学校6年生女子を対象に、和装のみならず、茶道、華道などの日本文化について毎月1回講義します。代表の田口節子さん（88歳）は、「熱い思いで10年以上続けてこられました。250人以上の会の卒業者と、いつかOB会をしたい」と話しました。



安吾ゆかりの地で、作品や生き方に触れる
5月8日(土)、大棟山美術博物館で、「坂口安吾まつりin松之山」が開催され、各地の安吾の会メンバーのほか、商工・観光関係者など約90人が参加しました。館内では安吾作品の朗読や弾き語りのほか、安吾の長男で写真家の坂口綱男さんによるトークショーも行われました。スライド写真を通じて語られる父への思いに、参加者は興味深く耳を傾けていました。

市報とおかまち 平成22年5月25日号

(ケアセンター三好園しんざ
内 ☎ 752-7670)

十日町市新商品等
開発支援事業募集

新商品開発のための試作品
づくりやアイデアの提案を応
援します。詳細は問い合わせ
てください。●補助対象事業
Ⅱ①製作部門…対象経費50万
円以上、補助限度額100万
円②企画部門…対象経費20万
円以上、補助限度額20万円③
アイデア部門…対象経費5万
円以上、補助限度額10万円④
起業準備部門(③で事業採択
された場合)…事業採択の翌
年度に限り補助限度額20万円
●対象Ⅱ企業(①②のみ)、
個人、グループ●補助率Ⅱ補
助対象経費の2分の1以内●
申込み・問合せⅡ6月30日(水)
までに産業振興課雇用開発係
(☎ 757-3139)

支援センターあんしん
スクールバス介助員
(パート労働者)募集

●応募資格Ⅱ看護師、准看護
師免許を持つている人●勤務
時間Ⅱ平日の①午前7時30分

57-3719)

6月1日(火)は
人権擁護委員の日

市には、市長から推薦され
て法務大臣が委嘱した人権擁
護委員がいます。相談は無料
で秘密厳守です。●人権擁護
委員(行政区と電話番号)Ⅱ
▼十日町地域…松井定延(美
雪町3 ☎ 757-4632)、
大嶋紘一(原 ☎ 755-20
77)、小川周策(水口 ☎ 7
55-2709)、尾身静榮
(高島2 ☎ 757-6971)
▼川西地域…滋野豊子(仁
田 ☎ 768-2626)、小
川靖夫(高原田 ☎ 768-3

倒産や解雇などで離職した人は
国保税が軽減されます

対象となる人は、申請をすると平成
22年度からの国保税が軽減されます。
■対 象：平成21年3月31日以降に
離職し、雇用保険の特定受給資格者
または特定理由離職者として失業給
付などを受けた人・受けている人
■軽減額：前年の給与所得を100分の
30として算定した国保税
■軽減期間：離職の翌日から翌年度末
までで、国保に加入している期間
(ただし、21年度の国保税は対象外)
■必要なもの：雇用保険受給資格者証、
平成21年の源泉徴収票、印鑑
■問合せ：市民生活課国保係
☎ 757-3735

9時30分②午後2時30分
4時30分(週5日程度)※で
きれば①②とも可能な人●時
給Ⅱ1、000円●申込み・
問合せⅡ支援センターあんし
ん(☎ 757-5511)

7周年キナーレまつり
フリーマーケット
出店者募集

衣類や雑貨など自分のお店
を出してみませんか。●日時
Ⅱ7月4日(日)午前10時〜午後
4時●出店料Ⅱ1ブース50
0円(テーブル・いす付きブ
ースは1、000円)●受付
開始Ⅱ6月1日(火)〜(先着順)
●会場・申込み・問合せⅡキ
ナーレ(☎ 752-0117)

県立魚沼テクノスクール
介護ヘルパー養成科
7月入校生募集

●期間Ⅱ7月13日(火)〜10月12
日(火)●会場Ⅱ小千谷市民学習
センター(小千谷市)●受講
料Ⅱ無料※テキスト代など自
己負担あり●定員Ⅱ15人●申
込みⅡ6月17日(木)までに所轄
のハローワーク●問合せⅡ県
立魚沼テクノスクール(☎ 0

むし歯のないよい歯の子
4月の3歳児健診を受けた子31人
よい歯の子 住 所 保護者
阿部 愛実(高田町3南) 善明
樋口 陽(新座4-2) 誠一
関 愛結実(本町7-1) 伊佐央
佐藤 克成(四日町1) 孝幸
板鼻 諒仁(城之古1) 雅芳
小林 隼大(城之古1) 和剛
小橋 朋大(城之古2) 亮介
高木 優弥(高島2) 篤
茂 越人(上新田2) 浩一
水生 曉人(上野) 康也
山田 乃華(岩野) 耕平
押木 望歩(土市5) 丈
重野 芽衣(南台) 洋央
高波 奈(中仙田) 直樹
登坂 真希(岩瀬) 道大
富井 希斗(荒屋) 寿
南雲 琉斗(堀之内) 伸行
今出川 皓(千年) 景
※保護者の承諾を得て掲載しています

税

5月の納税・納付

5月は固定資産税第1期、
軽自動車税、国民健康保険税
第2期、介護保険料第2期及
び後期高齢者医療保険料第2
期の納付月です。期限(5月
31日)内に納めましょう。
●問合せⅡ税務課・市民生活課

その他

6月の休館日

●中央公民館Ⅱ毎週月曜日
●千手中央コミュニティセン

伐採木を無料配布します

信濃川沿いで伐採した木
(長さ約1・5m、太さ5
20cm)を無料配布します。1
人につき軽トラック1台限り
で、なくなり次第終了します。
事前の申込みは不要です。
●日時Ⅱ5月29日(土)・30日(日)午
前8時〜午後5時●会場Ⅱつ
まりつ子広場堤防駐車場●問
合せⅡ国土交通省十日町出張
所(☎ 752-2180)

販売士検定試験(3級)

●試験日Ⅱ7月10日(土)●申込
み・問合せⅡ6月17日(木)まで
に、申込書(問合せ先に配置)
に受験料を添えて十日町商工
会議所(☎ 757-5111)

休日労働相談会

労働に関する相談に社会保
険労務士などの専門家がアド
バイスをします。相談は無料
で秘密厳守です(予約不要)。
●日時Ⅱ6月19日(土)午後1時

子ども手当の現況届を
提出してください

今年3月まで児童手当を受
給していた人で、新たに対象
となる子ども(中学2・3年
生)がいない場合は、市から
後日郵送される現況届を提出
しないと支給が停止されま
す。忘れずに提出してくださ
い。●受付期間Ⅱ6月1日(火)
〜30日(水)●持参するものⅡ子
ども手当現況届、印鑑、年金

52-2079)

新潟大学 法律相談部
無料法律相談会

【事前電話受付(相談に直接
答えることはできません)】
●日時Ⅱ6月11日(金)〜13日(日)
午前10時〜午後7時(11日は
午後1時〜)【相談会(要予
約)】●日時Ⅱ6月27日(日)午
前10時〜午後5時●会場Ⅱ新
潟大学五十嵐キャンパス法文
棟(新潟市)●問合せⅡ新潟
大学法律相談部(☎ 025-
262-9732)

守ろう!電波のルール

6月1日(火)〜10日(木)は、電
波利用環境保護周知啓発強化
期間です。電波の良好な利用
環境を守るため、不法無線局
をなくし、電波を正しく使い
ましょう。●問合せⅡ総務省
信越総合通信局▼無線設備へ
の混信・妨害や違法な無線設
備に関すること…監視調査課
(☎ 026-234-997
6)▼テレビ・ラジオなど放
送の受信障害に関すること…
受信障害対策官(☎ 026-
234-9991)

●休日救急医

●診療受付時間：午前 8 時30分～正午、午後 1 時～ 5 時			
期 日	医療機関名	住 所	電話番号
6 日(日)	山口医院	下条中央通り	755-2003
	津南病院	津南町	765-3161
13 日(日)	庭野医院	寿町 4	752-2711
20 日(日)	中条病院	北原	757-3018
	倉俣診療所	芋川	763-2147
27 日(日)	田中外科医院	田中町本通り	752-2403

●乳幼児健診

- ◎会 場…十日町保健センター（市役所隣）
- ◎持ち物…母子健康手帳、問診票、フッ化物歯面塗布希望確認票（1 歳 6 か月児のみ）、視聴覚アンケート（3 歳 6 か月児のみ）、着替えやおむつなど必要なもの
- ◎健診は体調の良いときに受診してください。欠席や体調が心配な場合は、本庁または各支所へ連絡してください。
- ◎3 歳 6 か月児健診は事前に検査セットを送ります。届かない人は本庁へ連絡してください。
- ◎健診終了時間が遅くなることがあります。ゆとりをもって来てください。

事業名	期 日	受付時間	対象児
4 か月児健診	23 日(水)	午後 1 時～ 1 時30分	22 年 2 月生まれの乳児
10 か月児身体測定	24 日(木)	午前 9 時～ 9 時30分	21 年 8 月生まれの乳児
1 歳 6 か月児健診	16 日(水)	午後 1 時～ 1 時30分	20 年 12 月生まれの幼児
2 歳 6 か月児身体測定	23 日(水)	午前 9 時～ 9 時30分	19 年 12 月生まれの幼児
3 歳 6 か月児健診	17 日(木)	午後 1 時～ 1 時30分	18 年 12 月生まれの幼児

健康相談・休日救急医・離乳食教室・乳幼児健診・乳幼児の健康相談の問合せ

十日町本庁（代表） ☎757-3111	川西支所（市民課直通） ☎768-4956	中里支所（市民課直通） ☎763-3121	松代支所（市民課直通） ☎597-2221	松之山支所（市民課直通） ☎596-2169
------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	---------------------------

▼「久しぶり！」「変わらないね」「今何してるの？」毎年、成人式には歓声と笑顔があふれます。私にとって成人式で一番楽しかったのは、離ればなれになった友だちとの再会。成人式の日から突然一人前になれるわけでもないのに、大人になった自分覚は正直あまりありませんでした。それでも、振りそで姿を家族に披露したときは何となく感慨深かったことを思い出します。両親や祖母は、どんな気持ちで私の振りそで姿を見ていたのでしょうか。

▼「七ツ詣り」は、男の子が険しい山道を一人で登り切って、一人前になったことを祝います。今号の表紙、子どもを見守る大人たちの温かい表情が印象的です。

●離乳食教室

事業名	対象児	開催日
離乳のはじめてコース	2 か月～ 4 か月児	1 日(火)
ステップアップコース	6 か月～ 9 か月児	15 日(火)
会 場	十日町保健センター（市役所隣）	
受付時間	午前 9 時45分～10 時	
持 ち 物	直接会場へおいでください 母子健康手帳・筆記用具	

●健康相談 保健師による相談

期 日	会場	受付時間
7 日(月)・21 日(月)	十日町保健センター（市役所隣）	午前9 時30分～11 時30分
10 日(木)	吉田公民館	午前9 時30分～11 時30分
15 日(火)	川西支所	午前9 時～11 時
18 日(金)	水沢公民館	午前9 時30分～11 時30分
21 日(月)	松代支所	午前9 時～11 時
25 日(金)	中条公民館	午前9 時30分～11 時30分
	下条公民館	午前9 時30分～11 時30分
28 日(月)	中里支所	午前9 時～11 時30分
	松之山支所	午前9 時～11 時30分
※健康手帳のある人は持参してください		

●乳幼児の健康相談 対象は乳幼児とその保護者です

期 日	会場	受付時間
9 日(水)	千手中央コミュニティセンター	午前 9 時30分～正午 午後 1 時～ 2 時30分
	子育て支援センター「きらりん」	午前10 時～11 時
10 日(木)	子育て支援センター「くるる」	午前10 時～11 時30分
	松之山保育園	午前 9 時～11 時
25 日(金)	松代保育園	午前 9 時～11 時30分

▼先日読んだ雑誌に、『ラギッドな親父になろう』という記事がありました。ラギッドとは、無骨なとか、男性的でたくましい、とかいう意味だそうです。「男は男らしくあれ」ということでしょうか。ともあれ、人一倍感化されやすい小生は、「まずは内面を磨こうよ」という周りの貴重な意見を拝聴しながら、ラギッドな親父になるべく、目下奮闘中です（笑）。

▼学校を卒業したのがついこの前と思っていたら、「あっ！」と言う暇もなく三十路を過ぎ、二児の父親になりました。友人に子どもが生まれたと連絡すると、「子どもを抱く姿が想像できない」と否定され、後輩からは、「もう30 歳ですよね？」うわつきすぎです」と言いたい放題言われる始末。

あすこたね

●ちびっこひろば

なかよしランド			
●日 時	毎週火曜日	午前10 時～11 時	
●対 象	1 歳～就園前のお子さんとその保護者		
●会 場	市民体育館	※15 日は遠足	
●問合せ	中央公民館	☎757-5011	

いっしょにあそぼ

●日 時	毎週木曜日	午前10 時～11 時
●対 象	未就園児とその保護者	
●会場・問合せ	水沢公民館	☎758-3101

ぐりぐりルーム

●日 時	12 日(土)	午前10 時～11 時
●会 場	下条公民館	
●対 象	乳幼児～小学生	
●問合せ	水落	☎756-2254

おはなしひろば

●日 時	12 日(土)	午前10 時～
●会 場	中里公民館	
●対 象	園児～小学生	
●問合せ	中里公民館	☎763-2493

おはなし「たまてばこ」

●日 時	10 日(木)	午前10 時～11 時
●対 象	乳幼児とその保護者	
●会場・問合せ	情報館	☎750-5100

読み聞かせの会「どんぐり」

●日 時	19 日(土)	午後 2 時～ 3 時
●対 象	幼児～小学生	
●会場・問合せ	情報館	☎750-5100

おはなしぴよぴよ

●日 時	5 日(土)・12 日(土)・26 日(土)	午前10 時30分～11 時
●対 象	乳幼児	
●会場・問合せ	情報館	☎750-5100

おはなしの会「ふきのとう」

●日 時	19 日(土)	午前10 時～11 時
●会 場	千手中央コミュニティセンター	
●対 象	乳幼児～小学 3 年生	
●問合せ	保坂	☎090-7814-9462

十日町おやこ劇場～おはなしてんこもり～

●日 時	毎週土曜日	午前10 時30分～11 時30分
●対 象	どなたでも参加できます	
●会 場・問合せ	十日町おやこ劇場事務所・加賀書院	☎752-2114
※加賀文庫の絵本の貸し出しも行っています		

●心配ごと相談	問合せ	社会福祉協議会	☎750-5010
会場：社会福祉協議会（本所・支所）			
時間：午後 1 時30分～ 4 時			
▽十日町本所	毎週木曜日		
▽松代支所	4 日(金)	▽松之山支所	8 日(火)
▽中里支所	18 日(金)	▽川西支所	22 日(火)

●こころの健康相談

- 本人でも家族でも無料で相談できます。
- 日 時 ① 3 日(木) ②22 日(火) 午後 2 時～ 4 時
- 会 場 ①川西支所 ②津南町役場
- 医 師 ①信田医師（中条第二病院）
②山下医師（山下メンタルクリニック）
- 申込み・問合せ
①健康支援課成人保健係 ☎757-9764
②十日町地域振興局健康福祉部地域保健課 ☎757-2402

●全血献血

- 期日・会場・受付時間
18 日(金) 中里総合センター 午前10 時～正午
JA 十日町本店 午後 1 時45分～ 3 時30分
- 問合せ 健康支援課母子保健係 ☎757-9759

●各種相談のお知らせ

- ジョブカフェ（若者のための仕事相談）
おおむね30 代半ばまでが対象です ※要予約
3 日(木)・17 日(木) 午前10 時～午後 3 時
会場：本町分庁舎 ☎757-3139
- 定例行政相談
毎月第 2 金曜日 午前10 時～正午
会場：本庁消費生活相談室・行政相談室
- 行政相談
【川西地域】23 日(水) 午後 1 時～ 3 時
会場：はあとふる川西
【中里地域】19 日(土) 午後 1 時30分～ 3 時30分
会場：中里支所
【松之山地域】4 日(金) 午前10 時～午後 3 時
会場：松之山自然休養村センター
- 特設人権相談所
3 日(木) 午前10 時～午後 3 時
会場：松代総合センター
- 法律相談
電話で市民生活課市民年金係へ要予約
毎週木曜日 午後 1 時30分～ 4 時
会場：本庁消費生活相談室・行政相談室
- 多重債務相談
電話で市民生活課交通生活係へ要予約
9 日(水) 午後 1 時30分～ 4 時30分
会場：本庁消費生活相談室・行政相談室
- 消費者相談
毎週月曜日 午後 1 時30分～ 4 時
会場：本庁消費生活相談室・行政相談室
- 定例社会保険・年金相談
10 日(木)・24 日(木)
午前10 時～正午、午後 1 時～ 3 時
会場：クロス10
- 教育・少年相談
月～金曜日（休日・祝日・年末年始を除く）
午前 9 時～午後 5 時
会場：教育センター（情報館内）
※電話相談（☎756-5010）も行っています
- 女性相談専用電話
月～金曜日（休日・祝日・年末年始を除く）
午前 8 時30分～午後 5 時15分 ☎757-3701



熱中夢中

この時 26

繭の会

着物を通じて自分の町を好きになる

おとしに10周年を迎えた、着物大好きグループ「繭の会」。十日町雪まつりをきっかけに立ち上げた会は、今ではイベントでの着物ショーの出演など年間数公演をこなします。子どもから大人まで「楽しく、厳しく、ためになる」を心に、着物をとおしていろいろなことを学んでいます。

問合せ 代表 高橋 幸子

☎ 757-2553



5月3日（憲法記念日）に行われたきものまつりでは、晴天の下、鮮やかな着物を着て華麗なショーを披露しました。



繭の会10周年記念祝賀会。多くの人を招いて喜びを分かち合いました。

公演を目前に練習に熱が入ります。振り付けを指導するのは、スタッフの千原美田紀さんと西川三代子さん。



「平成5年の十日町雪まつりで、足が悪くカーニバル会場まで行けない人のために、ふもとの会場でものショーを始めたのがきっかけです」と話すのは、代表の高橋幸子さん（昭和町1・61歳）。平成9年に繭の会を立ち上げ、着付けや振り付けなど、ショーの企画から演出まですべてを自分たちでこなします。

スタッフを含めた会員数は現在80人ほどで、ショーには3歳の子どもから30代の女性までが中心に出演します。イベントなど年間5〜8公演をこなし、きものまち十日町に花を添えています。高橋さんは、「着物を着ることで、女性らしさやふるまいが身に付きます。色鮮やかな振りそでは色彩感覚を養うのにも役立ちます。子どものころから着物に触れることで、何かを学んでほしいです」と語ります。続けて高橋さんは、「着物ショーは裏方でいろいろな人に支えられて活動しています。子どもたちには常に感謝の気持ちを持つことが大切だと教えています。目標は、自分の町を自分たちでPRできるようになること。この会をとおして、十日町の着物文化を好きになり、自分の町を好きになってくれればうれしいですね」と目を細めていました。